

## 附属校保護者対象「情報理工学部 学部説明会」

日時：2016年8月6日（土）13:00～13:45

場所：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス コーニングハウス I 4階 C403

概要：2017年度、情報理工学部はめまぐるしく変化するICTの世界に対応し、今まで以上に多様な学びを実現するために、学科を再編し、英語専修の情報システムグローバルコースと6つの専門コースからなる7コース制を導入します。本説明会では、学科再編の内容や各コースの概要、情報理工学部での学びや就職状況などについてわかりやすく説明します。

### 情報理工学部長からのメッセージ

#### 2017年度、情報理工学部は 新しく進化します

#### College of Information Science and Engineering - Renewal 2017

情報理工学部 学部長  
仲谷 善雄

情報理工学部は、情報通信技術（ICT）に関する我が国で最大規模の理系学部・研究科として2004年に創設されました。創設時より、「ICTに国境はない」、「ICTで国境をなくす」という考えの下、ICTを使って世界的に活躍できる高度グローバル人材の育成に努めてきました。そのために、幅広い分野をカバーする世界レベルの教員や研究者を揃えるとともに、世界標準のカリキュラムと研究教育設備を充実させてきました。その結果、ICT教育・研究の我が国における一大拠点として国内外で高く評価されています。

今回、これまでの経験を踏まえた上で、学部の教育をより高度なものにするため、大きな改革を行います。そのポイントは以下の2つです。

一、ICTの急速な変化や社会ニーズの動向に合わせて教育体制を柔軟に変更できるように、学科をひとつにまとめ、コース制を導入します。学生の皆さんは1回生の後期から希望に応じた専門のコースに配属され、専門分野の学びを深めることができます。一方で、ICTに共通する知識や技術については、学部として統一的に学べるようなカリキュラムにします。

一、教育・研究の国際化のさらなる推進を行います。国内の工学系としては初めての試みとして、日本人学生と国際学生がひとつの環境の下で英語だけでICTを学べるコースを設けます。また全コースにおいて基礎的なICT科目については、日本語でも英語でも学べるようにします。さらに、高度グローバル人材として自らを高められるようなカリキュラムや留学制度を、今まで以上に充実させています。

ICTでグローバルに活躍したいと考えている皆さん、ぜひ一緒に世界を目指しましょう。

## システムアーキテクトコース

これまでに見たこともないシステムや体験を創造できる  
情報システムの建築家（アーキテクト）を育成

マーケティング 自動運転 省エネ 介護ロボット 健康管理 SNS  
流通 電子政府 高齢者・児童見守り

ソフトウェア工学 IoT/分散システム データベース/ビッグデータ解析 コンピュータアーキテクト

これまで見たこともないシステムや体験を創造できる、デジタル時代の情報システムの「建築家（アーキテクト）」となることを目指し、ハード、ソフトの基礎から、ビッグデータ解析、IoTまで情報システム技術全般の知識と、ニーズに対応したイノベーションを社会実装できる実践能力を修得します。

## セキュリティ・ネットワークコース

コンピュータと情報ネットワークの基礎技術を学び、  
種々の攻撃から情報を護るセキュリティ技術を体系的に習得

安全・安心のセキュリティ技術で世界を支える人になる  
サイバーセキュリティ ネットワークセキュリティ

バイオメトリクス インターネット オペレーティングシステム 暗号理論  
モバイルネットワーク 暗号通信 システムをセキュリティ  
センサネットワーク

モノ・ヒト・サービスのあらゆるものがネットワークを介してつながるIoT社会の基盤をなすコンピュータそのものと情報ネットワークの基礎技術を学んだ上で、実際の攻撃からコンピュータシステムとそれが保有する貴重なデータを護る高度なセキュリティ技術を身につけることができます。

## 先端社会デザインコース

人間とICTが共生する未来の社会・システムをデザインし、  
安全・快適・便利をもたらす実践的能力を修得

● 私達の日常生活に高度な情報技術は不可欠

LINE, Instagram, 電子書籍が存在しない生活を想像できますか? たとえスマホを手放しても、社会は情報システムの意思に溢れている

● コースを支える三本の柱

- 膨大なデータの分析とモデル化を行うデータサイエンス技術
- 人々と社会・システムを高度に交流させるインタラクション技術
- 社会システム・サービスを設計・実装するデザインサイエンス技術

膨大なデータの分析とモデル化を行う技術、具体的な社会システム・サービスを設計・実装する技術、人々と社会・システムを高度に交流させる技術（ICT）が共生する未来の社会・システムを創造・実現する実践的能力を身につけます。



クリエイションコア



画像・音メディアコース



Global Innovation Laboratory



実世界情報コース

## システムアーキテクトコース

Software Engineering Computer Architecture  
System Architect  
Distributed Systems Internet of Things Database/Big Data Analysis

# R 情報理工学部 情報理工学科

RITSUMEIKAN



CRECORE-LA



情報システムグローバルコース (ISSE)



先端社会デザインコース



知能情報コース



教員集合写真

## 実世界情報コース

SF映画に出てくるような未来社会の創造を目指し、  
我々の住む実世界とコンピュータを繋ぐ技術を学ぶ

- 人とモノを繋ぐヒューマンインタフェース
- 仮想世界を体験するVR/AR/MR技術
- 機械システムを知能化するロボット技術

VR環境での業務の練習 ロボットと人の協調作業 モバイルMR型情報提示

Driving Simulator MR空間での3D表示

SF映画に出てくるような未来社会の創造を目指し、人やモノどうしの界面となるヒューマンインタフェース、臨場感の高い仮想世界を体験するバーチャルリアリティ技術やミクスリアリティ技術、身の周りのモノをネットワークにつなぐIoT、機械システムの知能化を実現するロボット技術を学びます。

## 画像・音メディアコース

便利で楽しく快適な社会の実現を目指し、  
多様なメディアデータを活用する技術を学ぶ

音声合成・認識 医療のための可視化  
画像認識 デジタルアーカイブ 自然情報処理  
ハイスピードカメラ CG

便利で楽しく快適な社会を実現するために、画像や音などの多様なメディアデータを活用する情報処理手法を学びます。また、コンピュータグラフィックス、情報の可視化、3次元画像処理、音声認識・合成、音響情報処理、信号処理などのメディア技術を高度化する研究を行います。

## 知能情報コース

データ解析、数理モデルなどを運用する知識と技術を学び、  
知能情報システムを工学的に実現する能力を修得

『脳機能から学ぶ人工知能』 『人工知能から学ぶ脳機能』

- 脳活動の計測と仕組みの理解
- 知的情報処理システムの実装
- 脳機能活性化
- 人工知能(AI)
- 脳機能の計測
- ゲームAI
- 脳機能の解析とモデル
- 学習の理論

自然現象や社会現象の計測によって得られたデータを基盤とし、データ解析、数理モデルやシミュレーションなどを運用する総合的な知識と技術を体系的に学びます。それにより、実データの取得と情報の抽出により対象を理解し、知能情報システムを工学的に実現する能力を修得します。

## 情報システムグローバルコース (Information Systems Science and Engineering Course)

日本人と国際学生が共に学ぶPBLを通じて、世界を舞台に活躍できるグローバル人材を育成

Project Based Learning (PBL)

- This course is all in English
- Students from Japan and other countries learn about:
  - AI, User Interfaces, Computer Art, Robots, SNS Applications
- Students do every step of the cycle, working and learning together with people from everywhere in the world

In the new world of information and communication technology, where exclusively local markets are disappearing, globally-oriented technical and social skills are essential to the survival of nearly every organization and occupation. The Information Systems Science and Engineering course educates students to become professionals who would be productive members of information technology teams anywhere in the world, with the experience and knowledge to develop practical and creative solutions to new problems. Students in the course develop the information systems engineering skills necessary to work as valuable team members and as competent leaders of diverse, dynamic communities.